

前橋市SDGsパートナー取組概要等

(ふりがな) 企業・団体名	とくていひえいかつどうほうじん えこ・ぼらんていあ 特定非営利活動法人 エコ・ボランティア					
U R L	https://www.facebook.com/ekoborantia/					
SDGsの達成につ ながる取組・活動の 概要	2022年創立、環境システム荻窪公園の小川にて、ホタルの生息地を整備している団体です。 学童にむけて自然体験学習教室を開催している。ホタルピーク時期5月中旬から6月中旬まで毎晩飛来数を観測している。親子で楽しめるホタルの思い出の場所を次世代につなげたいと一年を通して活動している。					
関連するSDGs のゴール						
				○		
						
					○	
						SDGsの 普及啓発
	○				○	
SDGsの達成に向 けたアクション宣言	ホタルと共に!					

ホタルを守るために 私たちのからのお願い

- ホタルは光に弱いので、ライトなどを使わずに静かに鑑賞してください。
- ホタルを捕獲しないでください。
- 柵の中に入らないでください。

マナーを守ってみんなで楽しく鑑賞しましょう

荻窪公園のホタルは、前橋市とNPO法人エコ・ボランティアにより自然繁殖を、目指して大切に育成されています。



場所/荻窪公園ふれあいゾーン西地区



ホタルが生息できるような環境を守り、育てていくこと。ホタルにとっても、人間にとっても重要なことだと考えています。

ホタルが生育できる環境づくりを一緒に仲間づくりからはじめませんか

会員募集中



お問い合わせ



NPO法人 エコ・ボランティア

【理事長】池田典子
携帯 090-9822-0291
e-mail: ran_noncha_who@yahoo.co.jp



こちらのQRコードでLINEにつながります。お気軽にご連絡・お問い合わせください。



**NPO法人
エコ・ボランティア**

ホタル見ごろ 5月下旬～6月中旬
夜 8:00～10:00頃

荻窪公園のホタルについて

ホタルの一生

【ホタルの成虫】メスは体長約2.0cm、オスは約1.5cm、メスは羽化時より卵をたくさん持っています。腹部にある発光器は、メスは1節でオスは2節あります。日没後に活動し、発光しながら飛ぶのはおもにオスです。

【6月下旬～7月初旬に産卵】 1匹のメスの産卵数は、500～1,000個です。卵の直径は0.5mmほどで川岸のコケなどに産卵します。卵の色は淡黄色ですが、数日で黒色になります。卵期間は約1ヶ月で、孵化(ふか)直後の卵は刺激すると光ります。

【孵化】 7月下旬には孵化します。孵化するのは明け方が多く、体長1.5mmほどの幼虫が出てきます。そして夜明けまでには水中に入ります。

【成長/上陸】 幼虫はカワニナを探して食べます。水温が下がる晩秋まで、エサを食べどんどん成長します。冬になると川底の岩の下でじっとしています。春になり水温が上がると活発になり、4月下旬の雨の夜、上陸します。

【さなぎ】 上陸した幼虫はその夜のうちに土にもぐり、土のまゆをつくり、その中でさなぎになる準備をします。さなぎになる前の準備段階の期間は約5週間、さなぎの期間は約2週間です。羽化して2～3日すると土のまゆから地上に出ます。

【飛来】 6月下旬～7月上旬が、クワジボタルの成虫の季節です。よく飛ぶのは、風のないどんよりとした暖かい日です。午後8時前後によく活動します。成虫の寿命は、個体差はありますが約10日です。この間に、交尾をして産卵します。

NPOエコ・ボランティアの活動内容

親子で楽しむ ホタルの里を 次世代へつなげたい

私たちは平成14年に設立以来、ホタルの生育を通して、街づくりや子供たちへの健全教育などを手がけてきました。それらの活動が群馬県や前橋市からも認められ、表彰も受けております。今後も多くの協力の必要があります。

【主な事業】

- ◆ホタルの生息地整備
- ◆ザリガニ駆除
- ◆小川の整備
- ◆学童にむけて命の大切さと自然の大切さを学ぶ「水辺の生き物教室」を春に開催

【4つの活動】

- ◆社会教育の推進
- ◆町づくりの推進
- ◆環境保全
- ◆子供の健全教育



【概略】

- 平成14年 特定非営利活動法人エコ・ボランティア 代表 平田次男が設立
- 平成25年 群馬県環境賞環境功労者賞受賞
- 平成30年 前橋市市民活動賞受賞

ゲンジボタルの一生



ホタルが飛び始めると、その数を数え記録します。また観察会などを開催します。

6月中旬～7月

交尾

卵 (約30日)

ふ化

幼虫はカワニナを食べて成長!

カワニナ

ホタル幼虫を川に放流します

カワニナの飼育 幼虫のエサであるカワニナの飼育をします。

幼虫(約10ヶ月) 7月頃～4月頃

さなぎ(約50日間) 4月～5月頃

羽化(約30日間)

地上へ





男性の妻は「地震に
限らず落雷や火災時の
停電も不安で、訓練は
非常に重要な取り組み
日、都内のホテルで開
業計画案などを承認し

でつくる県立前橋高京
浜同窓会今井敏会長
の総会・懇親会が7
総会では本年度の事
あいさつした。
文芸春秋社の元文芸
代になって小説を書き

0人が集い、世代を超
な懇親の場となるよう
運営を工夫したい」と
例えば小説を書く
リティー・オブ・ライ
としたら」と題し、60

の訪
や真
の訪
引器
常通
ッテ
ドを
を呼
ガス
たり
護装
う合
サポ
志田
意電
点の

20年でホタル舞う地に 前橋・萩窪公園

前橋市萩窪町の環境シ
テム萩窪公園で園内の川に
ホタルが姿を見せ始め、暗
闇の中で幻想的な光跡を描
いている。ホタルの保護を
続けている同市のNPO法
立。20年前には公園内にホ
タルはいなかったが、今で
は400匹以上が飛び回る
と見られる見込みという。
8日に同法人が「ホタル
博士になろう」と銘打ち、
公園内で観賞会を実施。子
どもたちと保護者約50人が
飛び交うホタルの淡い光を
楽しんだ。子どもたちはホ
宮崎浩治

淡い光を放ち乱舞するホタル。前橋・環境
システム萩窪公園

設計 桂子さん(しさん)。
たり・よし(こ)7日死
去。83歳。自宅は境栄。
小芝 としのさん
(こしほ・としの)10
長男の妻で平野スレー
ト工業社長の久江(ひ
長里
店主